



# MS313-28015・16 リヤバンパースポイラー

## 取付・取扱要領書

この度はTRDリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。  
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。  
取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施してください。  
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

### 品番・適合一覧表

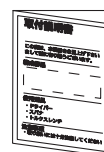
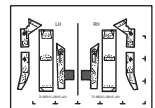
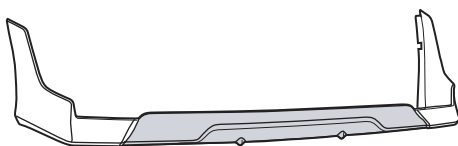
品番	塗装色	備考
MS313-28015-A0	ホワイトパールCS (070)	ノア Siグレード用 '18.12~ ヴォクシー ZSグレード用
MS313-28015-A1	ラグジュアリーホワイトクリスタルシャインGF(086)	
MS313-28015-C0	ブラック (202)	
MS313-28015-C1	ブラックツアゲルGF (221)	
MS313-28015-C3	イブヌマパールクリングブラックGF (224)	
MS313-28015-D0	ボールドマイカメトリック (3R9)	
MS313-28016-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

### 構成部品一覧表

品名	品番	個数	備考
リヤバンパースポイラー		1	
タッピングスクリュー		4	5 × 16
Jナット		4	5 mm
グロメット		2	6 mm
タッピングスクリュー		2	6 × 16
型紙		1	
取付・取扱要領書(本書)		1	本書は大切に保管して下さい。
PACプライマー(赤袋)		1	N - 200

以下、MS313-28016-NP(未塗装品セット)のみに同梱

品名	品番	個数	備考
モール		(各1)	黒/グレー L = 1800mm
モール		1	黒 L = 1575mm
PACプライマー(青袋)		1	K - 500



以下、MS313-28016-NP(未塗装品セット)のみに同梱



# 取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



## 警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



## 注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



## アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

### ⊖ やってはいけないこと

### ⓪ 必ず行なっていただくこと

## ⚠ 警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ⓪ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ⓪ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

## ⚠ 注意

- ⓪ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ⓪ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

## 脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ⓪ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して下さい。  
上記指定以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ⓪ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

## 両面テープについて

- ⓪ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ⓪ 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ⓪ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。  
温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⓪ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。  
圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。  
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

## 未塗装品の塗装作業について

- ⓪ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ⓪ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ⓪ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

## 取付けが終わったら

- ⓪ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ⓪ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ⓪ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。  
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

## 目次

- |  |       |
|--|-------|
| 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 . . . . .         | 1     |
| 2 . 取付け・取扱いご注意(作業者の方へ) . . . . .         | 2     |
| 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 . . . . . | 3     |
| 4 . 取付け要領 . . . . .                      | 4 ~ 9 |
| 5 . 取付け後の確認・点検 . . . . .                 | 10    |

### 一般工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター等)・ヤスリ・ドリル・キリ(3.0mm・6.0mm・10.0mm)
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

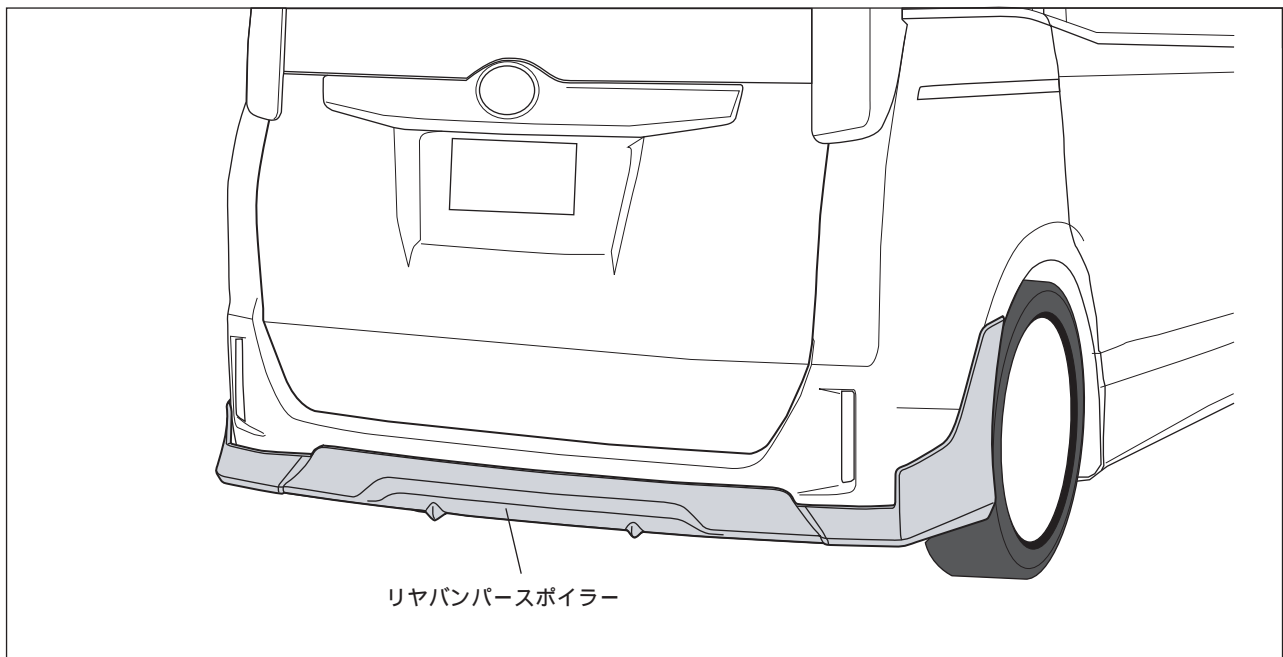
(1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで)

保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。

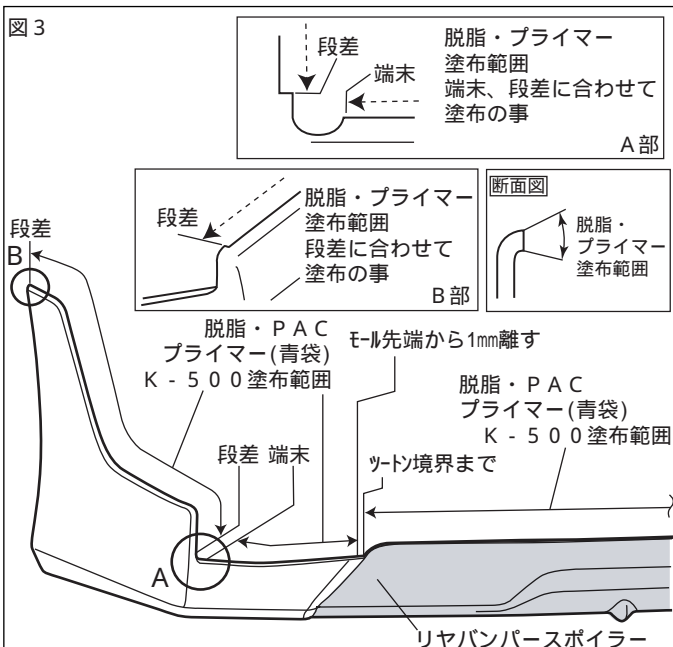
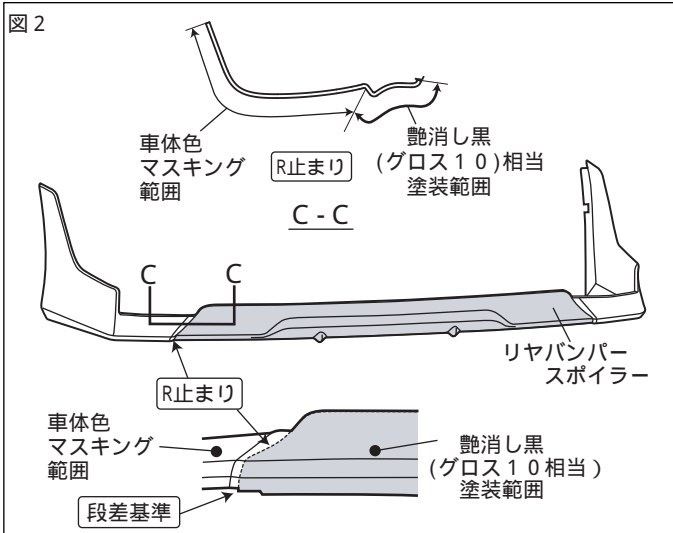
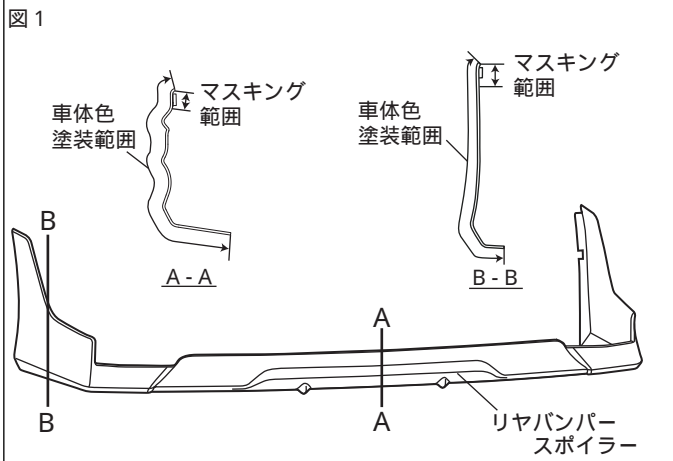
### 取付構成図



塗装済み品の取り付けは5ページ【リヤバンパースポイラー取付準備】に進み作業を行ってください。

## 未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-28016-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



## リヤバンパースポイラーの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

- 図1のようにリヤバンパースポイラーを車体色に塗装する。
- 図2のようにリヤバンパースポイラーにマスキングし、艶消し黒(グロス10相当)で塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール(以下IPAという)又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：両面テープには絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

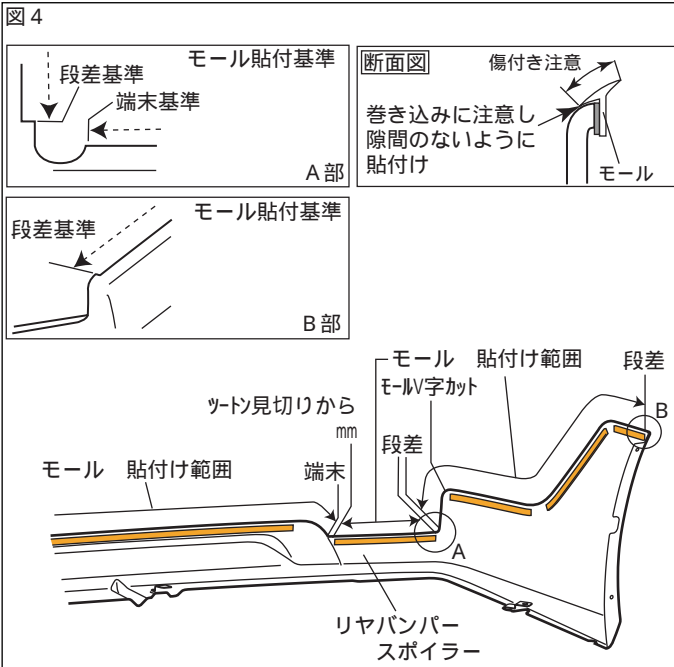
△注意：乾燥温度を70以上上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

## モールの貼付け

- 図3のようにモール貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方にふいて脱脂し、PACプライマー(青袋)K-500を塗布する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残りに、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

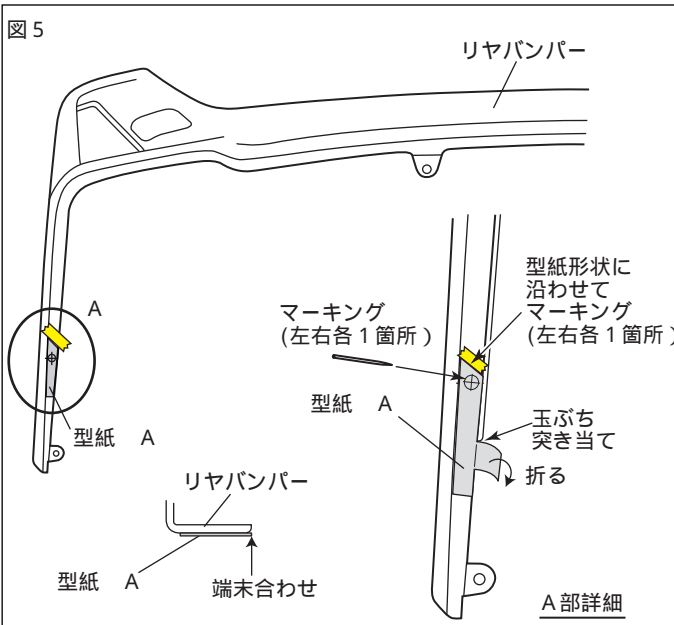
👉アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。



2. 図4のようにリヤバンパースポイラーに、モールドの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼付け圧着する。  
モールドは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

△注意：モールドは、二色同梱されています。塗装色に合わせて、モールド色を選択し貼付けて下さい。

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

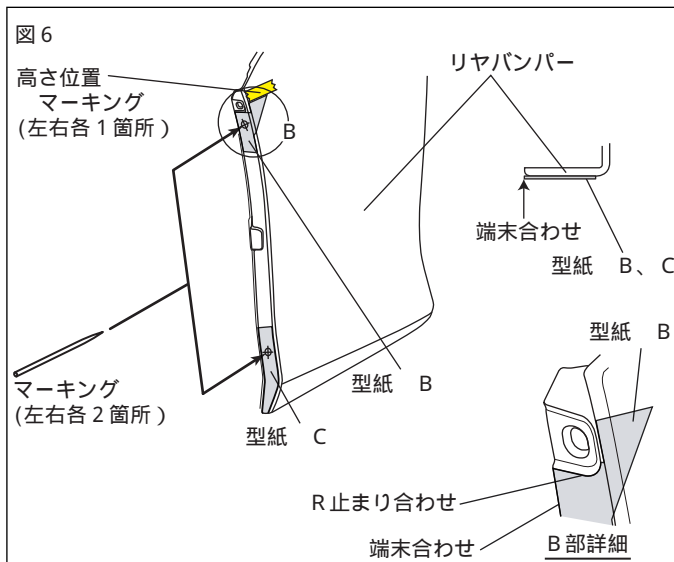


### 取付準備

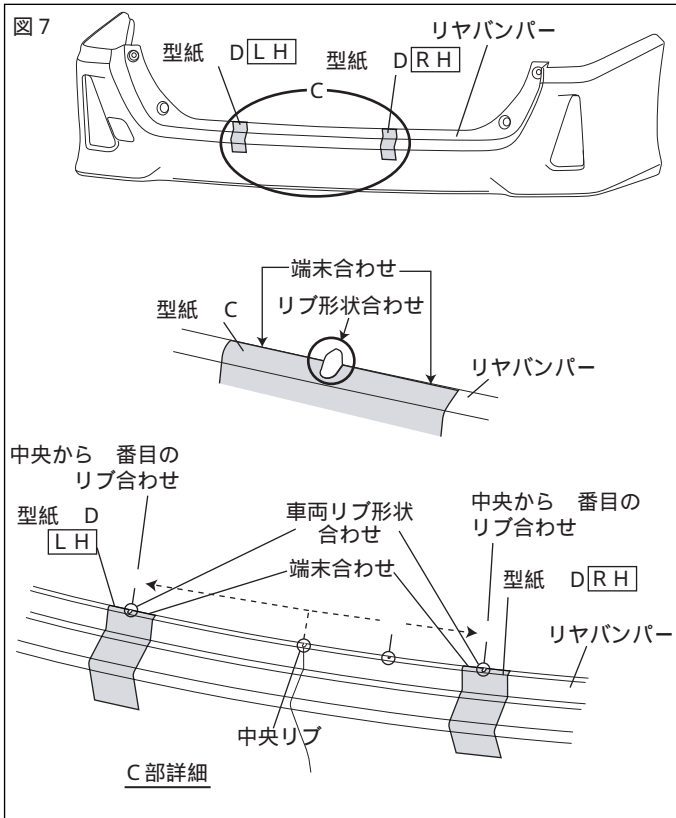
本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

1. 型紙 から図5のように型紙 Aをリヤバンパー下面に貼り付け、リヤバンパーの下面穴センターをマーキングする。  
(左右各 1箇所)

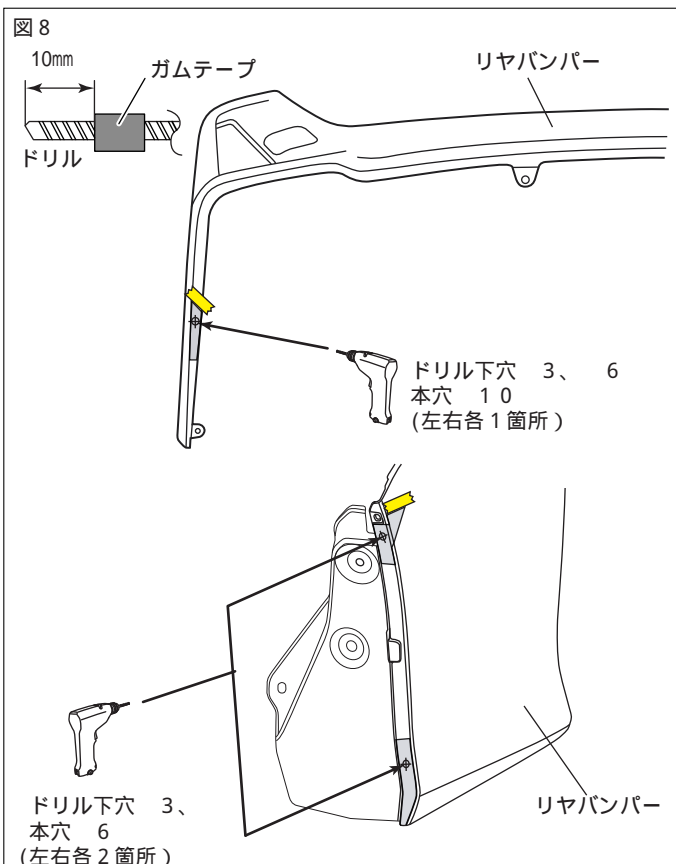
2. 図5のように型紙 Aの形状に沿わせてマスキングテープ等でマーキングする。  
(左右各 1箇所)



3. 図6のように型紙 B、型紙 Cを貼り付け、リヤバンパーのホイールハウス部をマーキングし、型紙 A、型紙 Bを剥がす。  
マスキングテープは剥がさないでください。  
(穴位置左右各 2箇所)  
(高さ位置左右各 1箇所)




3. 図7のように型紙 Dを貼付ける。  
(左右各1箇所)




4. 図8のように 3、6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、3、6のドリルを使用してリヤバンパー下面のマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各1箇所)


5. 図8のように 10のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、下穴に本穴をあけ、穴のバリを取除く。  
(左右各1箇所)


6. 図8のように 3のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、ホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。  
(左右各2箇所)


 アドバイス：フェンダーライナーも同時に穴をあけて下さい。

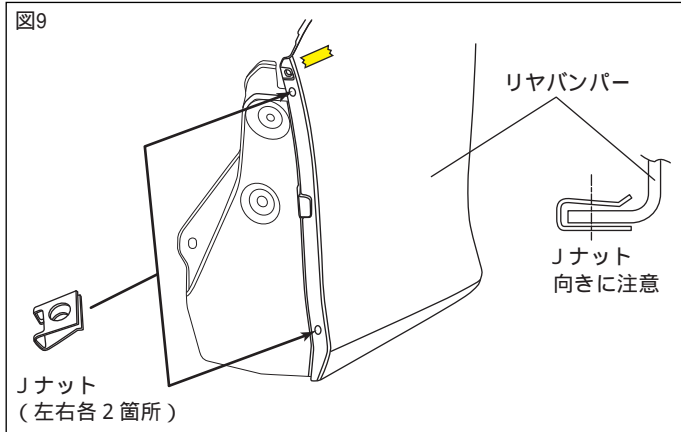
7. 図8のように 6のドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、下穴に本穴をあけ、穴のバリを取除く。  
(左右各2箇所)

 アドバイス：フェンダーライナーも同時に穴をあけて下さい。

 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

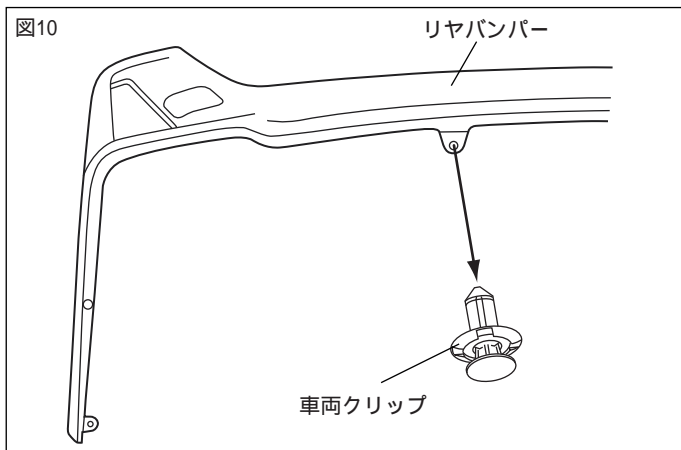
 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取除いてください。



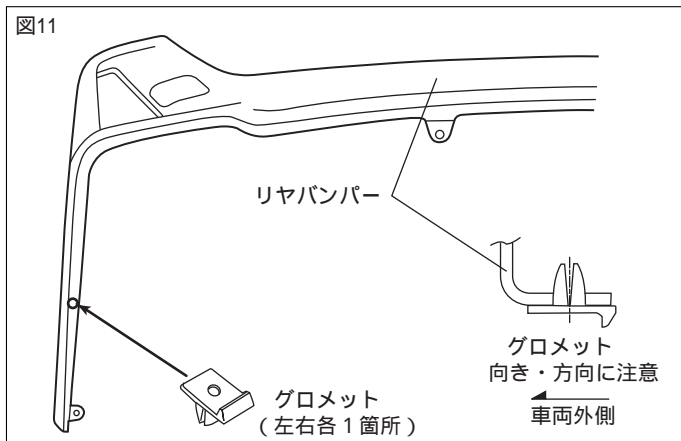
8. 図9のようにリヤバンパーホイールハウス部にJナットを差し込む。  
(左右各2箇所)

△注意：Jナットの差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとタッピングスクリューが取り付けなくなります。



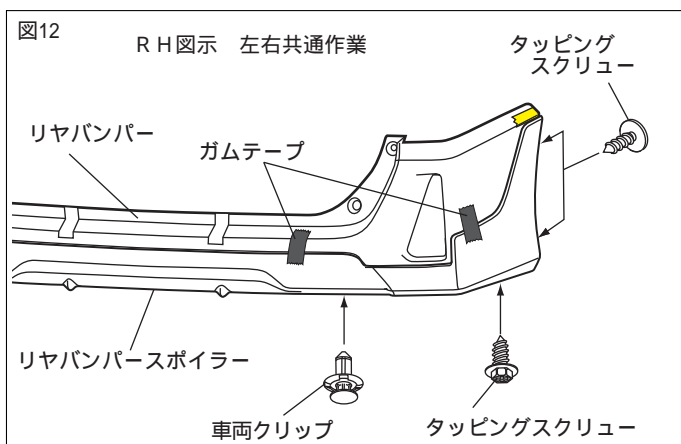
9. 図10のようにリヤバンパーから車両クリップを取外す。  
(左右各1箇所)

△注意：取外した車両クリップは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。



10. 図11のようにリヤバンパー下面部の取付準備3.でマーキングした方向に沿わせてグロメットを差し込む。  
(左右各1箇所)

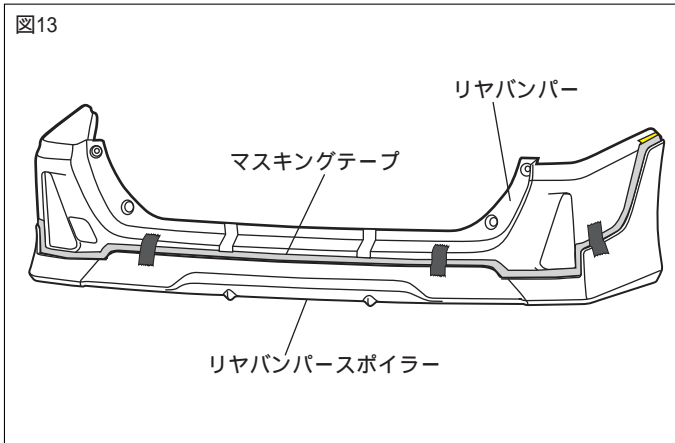
△注意：グロメットの差し込む向きに注意して下さい。逆に取付けるとリヤバンパースポイラーが取付かなくなります。



11. 図12のようにリヤバンパー後面を型紙Dの取付け高さに、側面をマスキングテープの高さに合わせてリヤバンパースポイラーを車両にあて、ホイールハウス部をタッピングスクリュー、下面を車両クリップとタッピングスクリューで仮止めし、ゴムテープ等で仮固定する。

△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。

図13

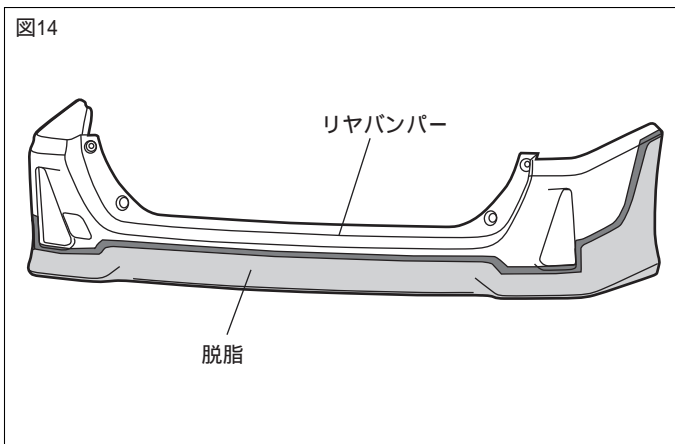


12. 図13のようにリヤバンパースポイラーのモール上端に合わせてリヤバンパーにマスクングテープを貼付ける。

⚠注意：PACプライマー塗布範囲のマスクング作業のため正確な位置出し、マスクングを行ってください。

13. リヤバンパースポイラーを取外す。

図14

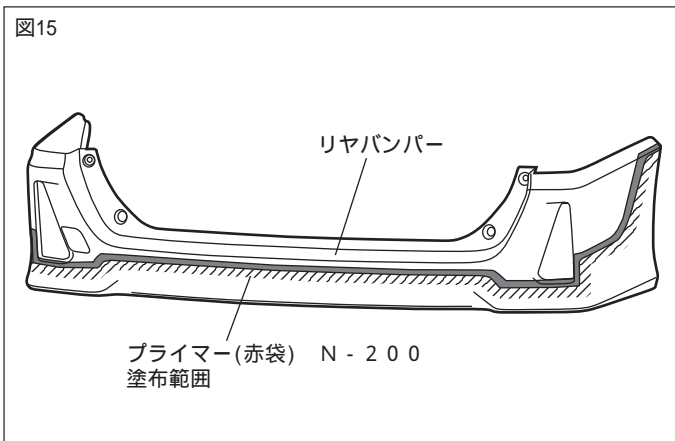


14. 図14のようにリヤバンパーのリヤバンパースポイラー取付部の汚れを取り除き、IPA又は、ホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください

⚠注意：脱脂を行う際は上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

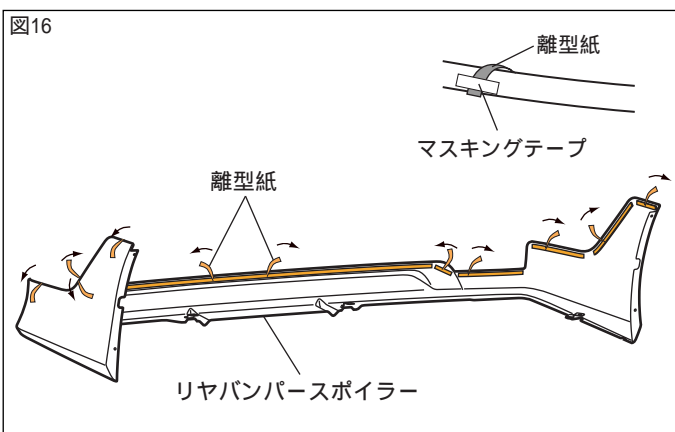
図15



15. 図15のようにリヤバンパーのリヤバンパースポイラーの両面テープ貼付け部(左図斜線図)にPACプライマー(赤袋) N-200を塗布する。

⚠警告：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPAで拭き取ってください。

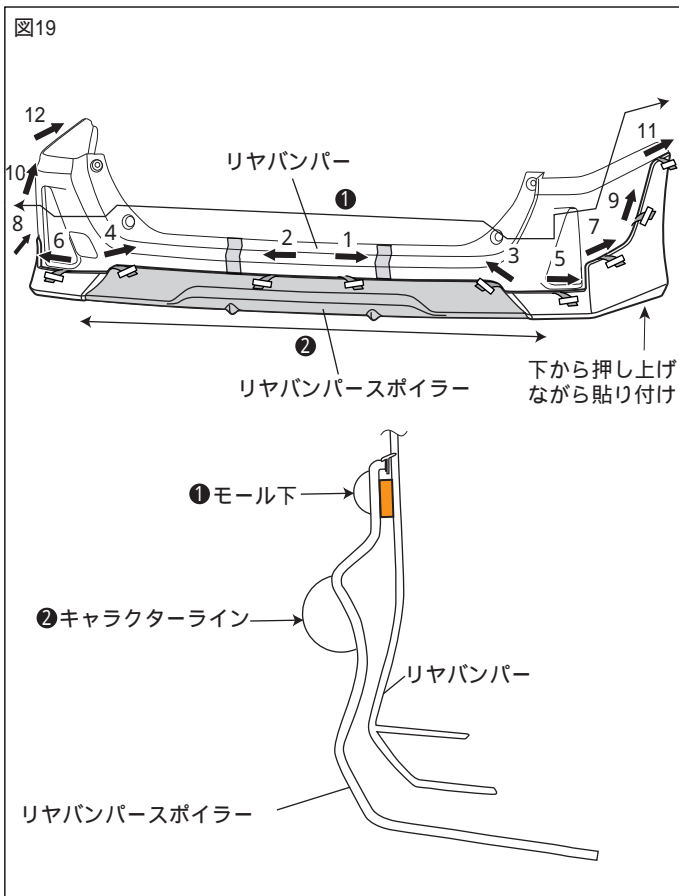
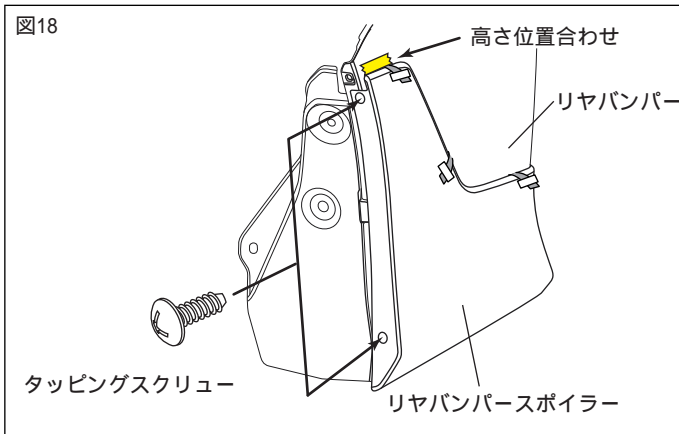
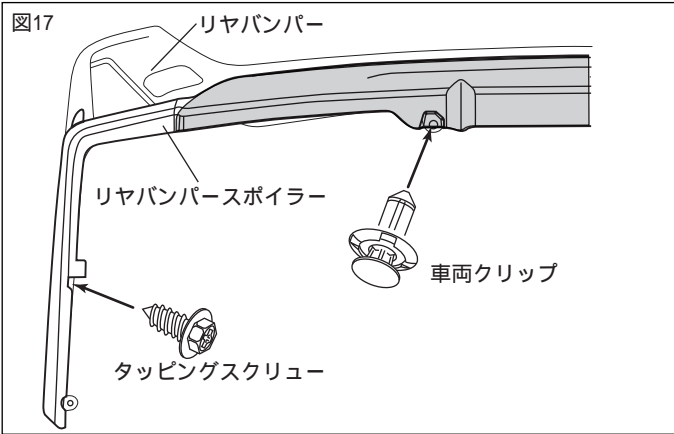
図16



16. 図16のようにリヤバンパースポイラーの両面テープの離型紙を中央から外側に30mm剥がしマスクングテープ等で表側に貼付ける。(左右各6箇所)

⚠注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。





## 取付要領

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。

- 図17のようにリヤバンパースポイラー をリヤバンパーにかぶせ、車両クリップとタッピングスクリュー で本締めする。  
(左右各2箇所)

- 図18のようにリヤバンパーにリヤバンパースポイラー を合わせ、ホイールハウス部にタッピングスクリュー で仮締めする。  
(左右各2箇所)

- 図19のようにリヤバンパースポイラー のセンター高さ位置を合わせながら、両面テープの離型紙を図番号順に剥がしながら貼付け、モール下①のラインを圧着する。  
{49N(5kgf)以上}

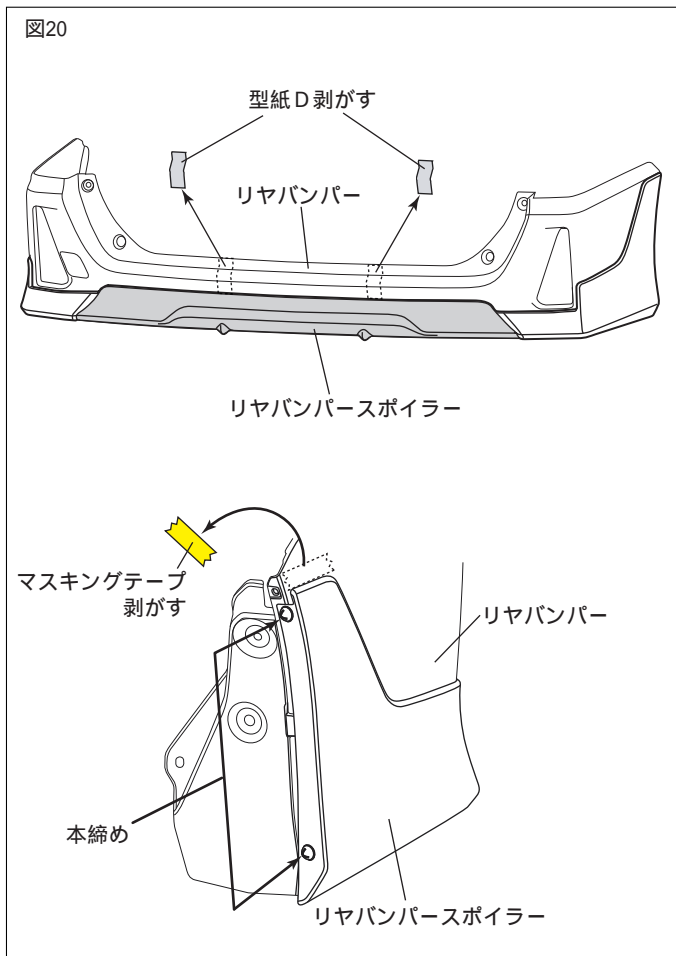
- 図19の、②キャラクターライン付近をもう一度、押し付けて両面テープを確実に圧着する。  
{49N(5kgf)以上}

△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40 程度に暖めて下さい。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。



5. 図20のように型紙Dとマスキングテープを剥がし、仮締めしておいたリヤバンパー スポイラー ホイルハウス部のタッピング スクリュー を本締めする。  
(左右各2箇所)

#### 取付完了後の点検・注意事項

1. リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがスクリュー・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検します。
2. リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検します。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

作業に伴いバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

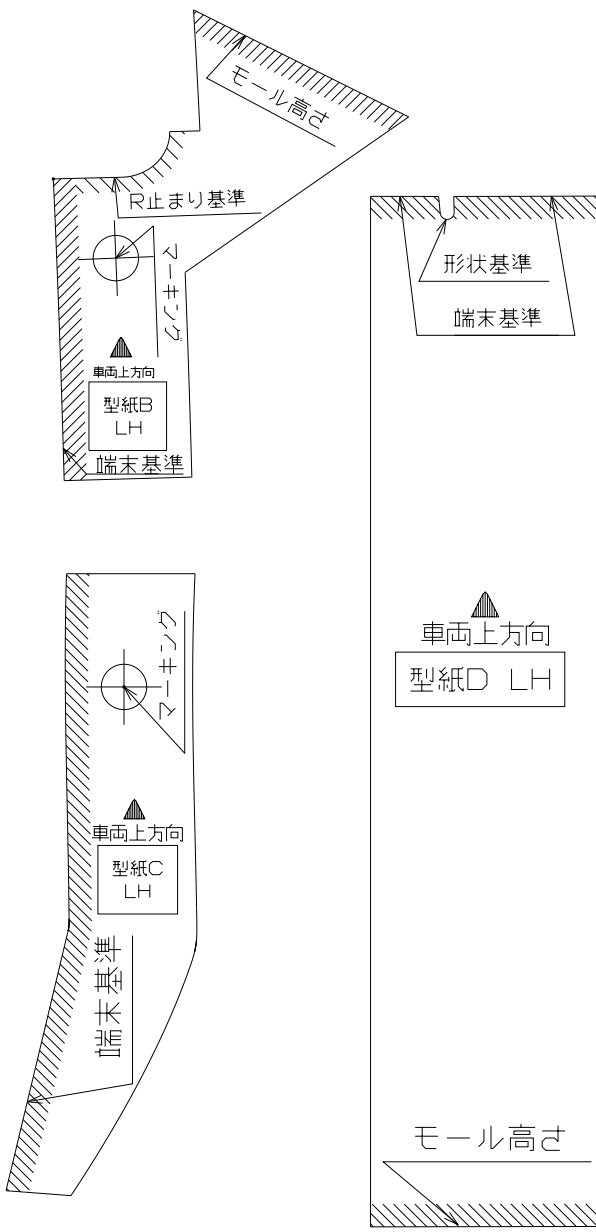
株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

TRD商品問い合わせ窓口

〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地

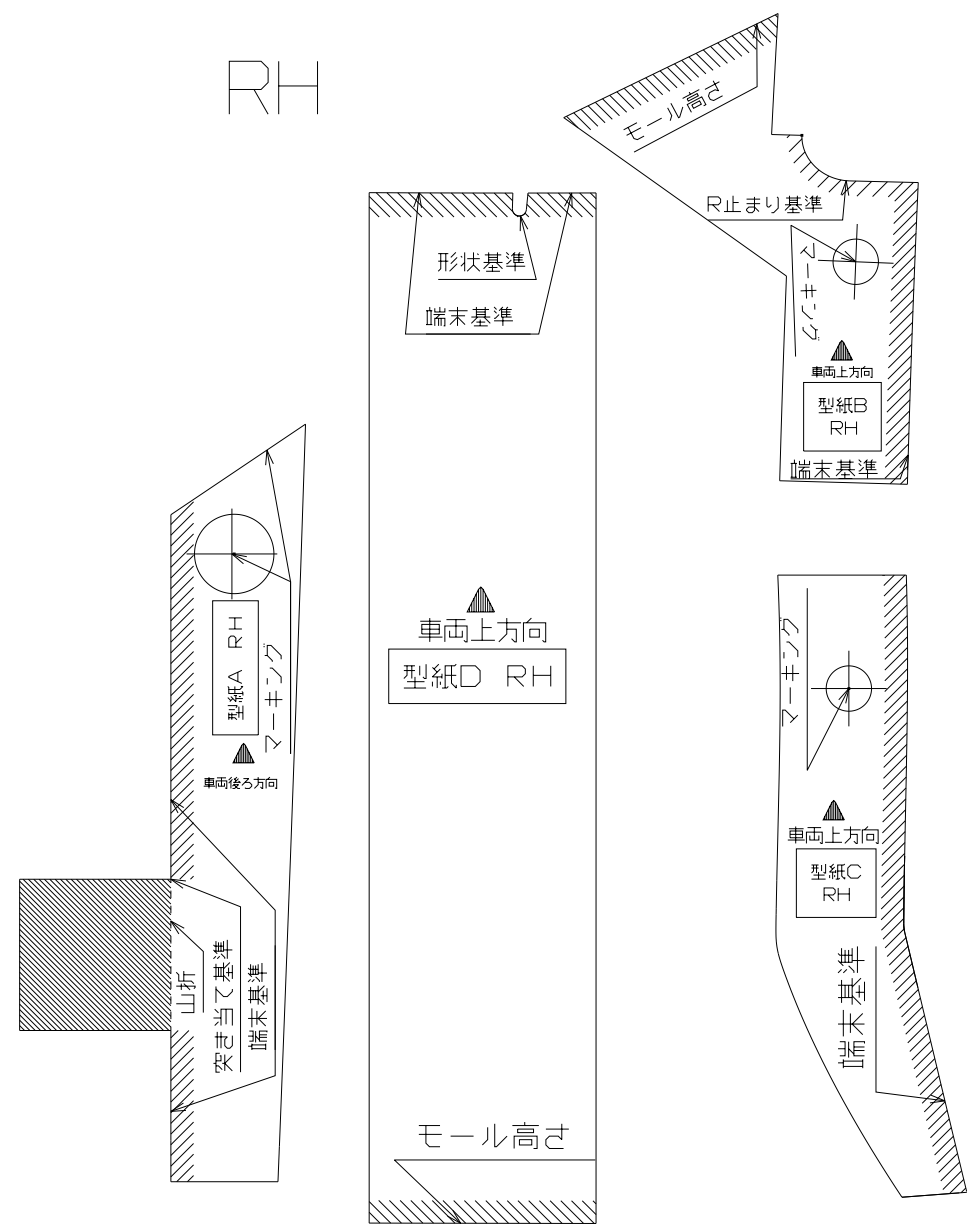
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122

<http://www.trdparts.jp/>



LH

73-MS313-28015-A01



RH

73-MS313-28015-A01